

は種時から使えて、 しっかり守る。



アドマイヤー® CR 箱粒剤

は種時から移植時まで、
いつでもまける幅広い処理適期を実現。
コントロール・リリースで、
いつでも使えて、しっかり守る。

育苗箱専用殺虫剤



は種時



緑化期



移植時

自然に学び自然を守る



クミカ

®アドマイヤーはバイエルグループの登録商標

製品情報の詳細は
こちらから



高密度播種
箱当り: 50~100g
(1kg/10aまで)

慣行播種
箱当り
50g

は種時から、使える。

アドマイヤー® CR 箱粒剤

農林水産省登録 第22132号

- 成分：イミダクロプリド……1.95% **殺虫剤分類 4A**
- 性状：類白色細粒
- 毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

アドマイヤー® CR箱粒剤の特長

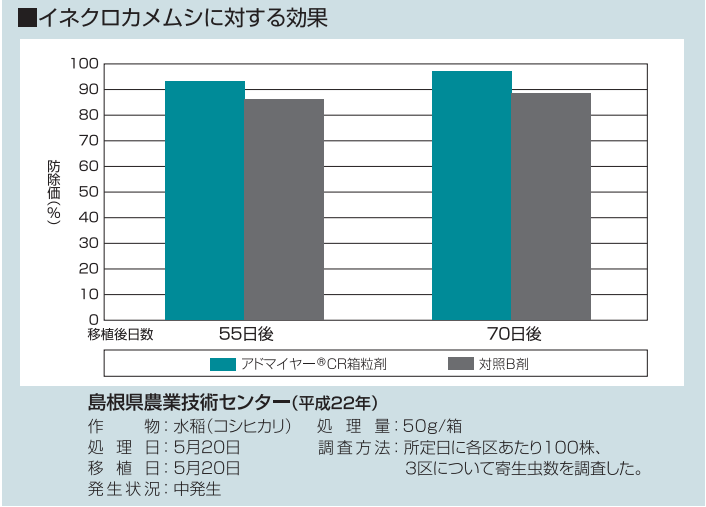
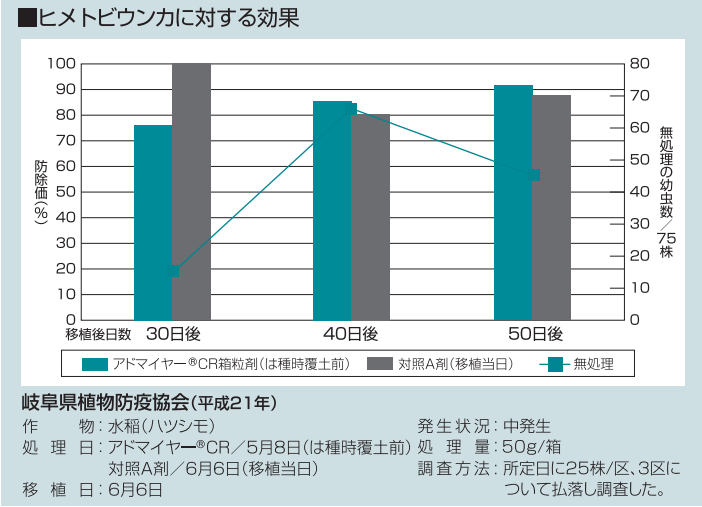
- ◎「CR(コントロール・リリース)」により、は種時から移植当日まで使用可能です。
- ◎使用時期が幅広いため、労力分散が可能です。
- ◎イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ツマグロヨコバイ、ウンカ類に対し高い防除効果を示します。
- ◎高密度播種の場合、10a当りの育苗箱枚数にあわせて育苗箱当りの使用量を50～100g/箱で処理でき、安定した防除効果が期待できます。＊ただし、10a当りの処理量は最大1kg/10aです。

適用害虫および使用方法 2022年2月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	イネクロカメムシ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植当日	本剤：1回 イミダクロプリド：3回 (移植時までの処理は1回、 本田での散布は2回)	育苗箱の上から 均一に散布する
	イネアザミウマ		移植2日前～移植当日		
	ウンカ類		は種時(覆土前) ～ 移植当日		
	イネドロオイムシ				
	イネミズゾウムシ				
	ツマグロヨコバイ				
	イネヒメハモグリバエ				
	イネアザミウマ	高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)	移植2日前～移植当日		
イネクロカメムシ		移植当日			

*収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

試験成績



注意事項

- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当りに乾切として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整して下さい。
 - 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
 - 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧にを行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
 - 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種時の処理により薬害が生じるおそれがあるので、は種時の使用をさせて下さい。
 - 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - 誤食などのないよう注意して下さい。
 - 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
 - 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
 - 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。
- ★播種同時施薬機や田植同時施薬機で使用する場合は、農機販売会社に本剤の使用に関して確認をして下さい。また、散布量の調整を実施したうえで使用して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。